

THE ÖSSUR NEWS

Team Össur

1. Team Össur (チーム・オズール)

Össur社は、'Life Without Limitations (制限のない人生を)' をスローガンとし、integrity (誠実)、ambition (大志)、dedication (献身) を信条としています。その'Life Without Limitations' を現実としているTeam Össurを今回、紹介します。

Team Össur (*1) は、パフォーマンスに優れ、世界レベルで活躍するアスリート (競技者) のためのチームです。メンバーは陸上競技のみならず、クロスカントリー、アルペンスキーなどのアスリートも在籍しています。他にも、スケートボーダー、自転車競技選手、水泳競技選手、ゴルフプレイヤー、自動車レースドライバー、スタントマンもチームのメンバーとなっています。多くの方が、パラリンピック出場者や世界記録保持者です。また各々の専門競技において、世界トップレベルの特に優れているアスリートに対して、Össur社がスポンサーまたはサポートするシステムも行っております。(*2) そしてTeam Össurのメンバーの才能やカリスマ性は、多くの切断者に勇気を与え、各々の目標や達成への導きとなっています。

義足は、近年の進歩までに、長い過程を経てきました。現代の高い技術などにより、以前では考えられなかったような事までも可能になりました。障害者の競技の成績は、健常者の記録にも近づいています。ですがこういった進歩にもかかわらず、切断者の可能性に対して、「義足だからできない、切断者だからできない」という多くの断念や誤解をされることを、聞くことがあります。それは切断者自身にも、誤解をされることがあります。Team Össurのメンバーの活躍や活動を通じて、彼ら自身が認識されることが、多くの切断者や家族の方への、可能性と各々の目的やゴールへの意識を高めるきっかけとなっています。

Össur社は、最新の義肢技術開発によりチームをサポートし、義肢装具士とコーチの緊密な体制をとっています。自動車メーカーがレーシングドライバーから多くのことを学ぶのと同じように、Team Össurのメンバーから、Össur社は大変貴重なフィードバックを得ています。最新の技術がTeam Össurでテストされ、その利点や評価を、義足部品などのデザインに組み込むことで、幅広い年齢層や、活動層の義足装着者に反映しています。



Stefano Lippiさん (イタリア) 大腿義足T42/F42:
2004年アテネパラリンピック
走り幅跳び 銀メダル (5.63m)



Urs Kollyさん (スイス) 下腿義足T44,F44,P44:
2004年アテネパラリンピック pentathlon (5種競技)
世界新記録 (4447ポイント) ゴールドメダル、
走り幅跳びでも大会新記録 (6.68m) でゴールドメダル



フレックスプリント™
トラック競技に適したフット
モジュール
大腿切断者の方に最適です



チータ™
トラックスプリント競技用に
設計されています
下腿切断者の方に最適です

2. 2004年 アテネパラリンピックでのTeam Össur

2004年のアテネパラリンピックは、史上最多の136か国から3,969人の選手が参加しました。ギリシャのオリンピック・アリーナで、何万人という観衆の中、選手やコーチ、家族や友人など多くの方が特別な思い出を作りました。

Team Össurの選手は、13個もの金メダル、9個の銀メダル、7個の銅メダルを獲得し、その強さをアピールしました。なかでも大会終了間際の9月28日は、1日で10個の世界新記録をたたき出し、3個のパラリンピック記録を樹立しました。

走り幅跳びの銀メダリスト、Stefano Lippi氏によれば、「緊密な人間関係を築くことが、敬意、相互の信頼、誠実な友情をもたらす!」と言って、このTeam Össurの中で、Össur社の技術者やサポートスタッフとのプロフェッショナルな関係が重要であることをメッセージしてくれました。

大会終了後、Jon Sigurdsson (Össur社社長兼CEO) より、大会に参加された方々にメッセージが送られました。「私は多くの人と一緒に、驚愕と誇りを持って、共に観戦しました。競技された選手の成績に驚愕したわけではありません。私は、この義肢業界に関わった年月の間、限界まで挑戦することを拒んでいる多くの人を見ましたが、この大会で、多くの選手が参加者による人間の努力の威力で終結したことに驚愕したのです。Team Össurの中で、目標に向かって一生懸命に頑張っている選手、スタッフを誇りに思っています。素晴らしい結果と、大変エキサイティングな瞬間がありました。自然と私もÖssurの製品に対して、そして、その製品の中でも、試合で卓越した特性を示したFlex-Footを誇りに思います。選手の皆さまには『おめでとう』を、そしてスタッフ、ボランティア、アテネの試合を特別なものにしてくれた皆様には、感謝の気持ちを送ります。この大会に関わった皆さんのスキル、修業、決意を賞賛します。まさに、'Life Without Limitations' の生きる証です。」



Wojtek Czyzさん (ドイツ) 膝義足 T/F42:
2004年アテネパラリンピック
200m走 世界新記録 (26.18s) でゴールドメダル、
走り幅跳びでも世界新記録 (6.23m) でゴールドメダル、
100m走でも大会新記録 (12.51s) でゴールドメダル



Life Without Limitations

THE ÖSSUR NEWS

Team Össur

3. Paul Martin (ポール・マーティン)

Team Össurのメンバーとして活躍している中の1人であるアメリカ人のPaul Martin氏を紹介します。

Paul Martin氏は下腿義足の装着者で、トライアスロン、自転車競技、陸上、アイスホッケー、アルペンスキー、アドベンチャーレースを専門競技として活躍しております。その中で、4種目の競技(自転車競技、アルペンスキー、アイスホッケー、トライアスロン)で、アメリカのナショナルチームのメンバー(全米代表)となっております。スポーツへの生来の能力と、至高の献身、身体の限界と精神力のスタミナを押し上げることが、Paul Martin氏をナショナルチームへと引きつけます。

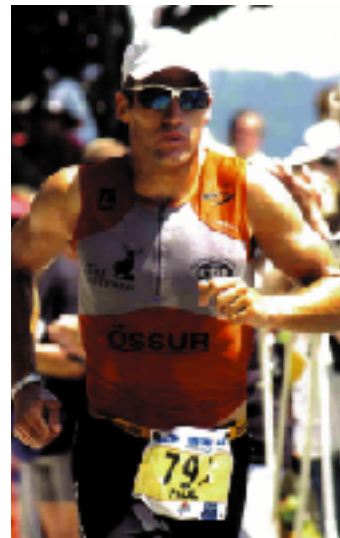
彼は各々の競技により、パフォーマンスを高めるために、足部を使い分けています。自転車競技のときは、彼のニーズにあったFlex-FootのVari-Flexを使用しています(2002年Cycling World Championshipsのタイムトライアルで優勝)。アメリカ切断者ホッケーチームでプレーするときは、Modular III、トライアスロンのランニングでは、Flex-Sprintを装着します。「軽量で、スムーズなロールオーバーモーション、長距離のランニングに必要な自然なストライドができる」と彼は言い、そして言葉のとおり見事に走ります。

彼の人生で、健常者の競技者をうならせたひと月がありました。2002年の後半のことです。ハワイでのアイアンマンレースXterra World Championships on Maui、サンディエゴでのトライアスロンChallenge in California、メキシコでのトライアスロンTriathlon World Championships in Cancun。彼は、そのひと月で3つの大会に参加したにも関わらず、スタミナを十分に保ちました。

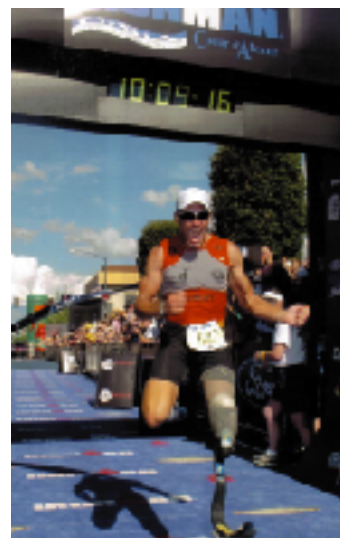
Paul Martin氏は、アメリカ合衆国マサチューセッツ州の労働者階級で育ちました。2年間の里親に育てられた困難な幼年時代には、息を抜くためによく運動競技をしました。25歳のときに自動車事故で左下腿切断になった後も、本格的な競技トレーニングを積みました。彼に足を取り戻したいかと聞くと、自信を持って「NO(ノー)」と答えます。彼にとっての、成功や人生への情熱、たくさんの競技への駆り立ては、脚を失ってから、それらが始まったことと彼は認識しているからです。こういった経験を、2002年10月に出版された、「One Man's Leg」という本にまとめました。(日本でも翻訳され販売されています。「1本足の栄光—あ



Paul Martinさん
2004年6月
バッファローズプリ
ング湖 トライアスロ
ン
記録4:59:31
初めて5時間を切る



Paul Martinさん
2005年
アイダホ州コーダレン
・アイアンマンレー
ス



Paul Martinさん
2005年
アイダホ州コーダレン
・アイアンマンレー
スのゴール
(記録10:09:17
当時の世界新記録)

る片足アスリートの半生」実業之日本社) また彼は、トレーニングや競技による彼自身の業績を、子供たちや、職場の方々、障害者、健常者へのスピーチを通して伝え、感動を与えています。

Paul Martin氏は、2005年にはCompetitor Magazine's Endurance賞を受賞、Espy賞にノミネートされるなど、これまでの業績をたたえられています。



2004年アテネパラリンピック
自転車競技チームスプリント アメリカ・ナショナルチーム
銀メダル (Paul Martinさん右)

Paul Martin氏のプロフィール

生年月日	1967年6月21日
職業	アスリート、モチベーション・スピーカー、著者
切断レベル	左下腿切断
専門競技	トライアスロン、自転車競技、ランニング、アイスホッケー、アルペンスキー、アドベンチャーレース
2004 パラリンピック	自転車競技: 追い抜き競走、チームスプリント、ロードレース、タイムトライアルに参加 チームスプリント: 銀メダル、個人追い抜き競走: 銅メダル
競技クラス	LC2

- 今までの競技のハイライトなどをホームページ(<http://www.onemansleg.com>)で公開しています。
- Paul Martin氏は、第13回 POアカデミー研究会(2006年6月3日、4日 大阪国際交流センター)で、モチベーション・スピーカーとして、来日講演いたします。
研究会ホームページ(<http://www.kmw.ac.jp/JAPO2006/>)

*1: Team Össurに関して、Össur社のホームページ(<http://www.ossur.com>)でも公開しております。

*2: この原稿を記載している2006年現在では、Team Össurの活動やシステムは、残念ながら日本では導入されていませんが、今回のこの情報が、切断者や家族、義足に関わるの方々に対して、プラスになると思い、この記事に掲載することにしました。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。



Life Without Limitations